

K1-004

会場：C405

時間：6月8日 9:45-10:00

幌満カンラン岩の極端に Al の乏しい斜方輝石—メタソマティズム時の流体組成変化の物証—

Extremely low-Al orthopyroxene in the Horoman peridotite, Japan: as a key to evolution of metasomatising fluids

森下 知晃[1], 荒井 章司[1]

Tomoaki Morishita[1], Shoji Arai[2]

[1] 金沢大・理・地球

[1] Earth Science, Kanazawa Univ., [2] Dept. Earth Sci., Kanazawa Univ.

幌満カンラン岩より極端に Al の乏しい斜方輝石を発見した。この斜方輝石は、沈み込むスラブ由来のフルイドがカンラン岩と反応していく過程で形成されたと思われる。

幌満カンラン岩より極端に Al の乏しい斜方輝石を発見した。この斜方輝石は、沈み込むスラブ由来のフルイドがカンラン岩と反応していく過程で形成されたと思われる。